

2022年1月12日

各位

会社名 株式会社今仙電機製作所
 代表者 代表取締役 櫻井 孝充
 社長執行役員
 (コード番号：7266 東証・名証第一部)
 問い合わせ先 グローバル経営事業本部 井上 達嗣
 執行役員
 TEL 0568-67-1211

無動力歩行支援機『a L Q』（アルク）体験会実施 ～養老町「養老公園観光拠点整備プロジェクト」への採用に向けて～

当社は、昨年12月9日、岐阜県養老町の養老公園にて、当社の無動力歩行支援機『a L Q』（アルク）の体験会を行いました。この体験会は、養老町が進める「養老公園観光拠点整備プロジェクト」の公募型プロポーザルの1つである「養老駅舎周辺で利用できる第三次交通手段のレンタルサービスの導入」の候補器具としての適性を評価することを目的として開催されたものです。

「養老公園観光拠点整備プロジェクト」は、養老駅・養老公園とその周辺の観光活性化に取り組むもので、中心的な観光スポットである養老の滝への道のりは、坂道や階段が続くため、疲労や歩行への不安を減らし、より多くの方に散策を楽しんでもらいたいというニーズがありました。

これに対し、『a L Q』は電気モーターなどを使わず、バネと振り子の動きが作用して、脚の振り出しをアシストするという特性により、徒歩での観光に対する疲労軽減が期待できる製品であることから、このプロジェクトに参加したものであります。

体験会では、参加いただいたシルバー人材センターの方々をはじめ約10名に『a L Q』を装着いただき、養老公園入り口から養老の滝まで散歩していただきました。参加者からは「坂道が楽に歩けた」「息切れがせず登れた」などの効果を実感していただくことができ、その様子はメディア（中日新聞1月5日発刊）でも紹介されました。

今後は、2月頃に養老公園の一般来園者に『a L Q』を使っただき更なるニーズ調査を実施する予定です。

当社は今後も、歩行研究を通じて新事業の拡大を目指すとともに、福祉業界、スポーツ業界にも応用範囲を広げ、一人でも多くの方のQoL向上、健康増進に貢献し続けてまいります。



a L Qを装着して養老の滝まで登っていただきました

無動力歩行支援機『a L Q』



フックとベルトで簡単に脱着できます



バネと振り子の動きで、脚の振り出しをアシストします

以上